

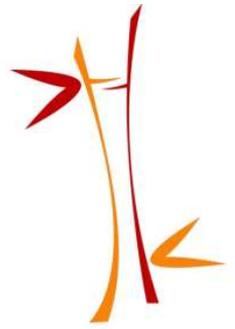
防災で未来をつくる

2022 年度 事業計画

【認定】特定非営利活動法人

SEEDS Asia

2022 年 5 月



団体概要

団体のビジョン

災害に負けない持続可能な社会

団体のミッション

最も脆弱な立場にある人々に、命、まち、暮らしを守るための適切な手段や技術、知識、スキル、そして他者とのつながりをもたらすこと

活動目的

アジアにおける環境問題や災害に負けない持続可能な人づくり・まちづくり

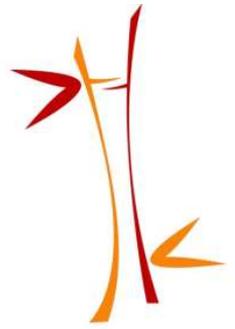
活動理念

▼SEEDS Asia が大切にしている 5 つのつながるアプローチ

- 政策と行動
- 科学と実践
- 神戸と東北、アジア世界
- 環境と暮らし
- 過去・現在・未来迅速な行動

行動規範

- 最も弱い立場にある人々へのリーチ
- 参加型意思決定
- 現地環境・文化への適応
- 非差別的アプローチ
- 個人への配慮
- 秀逸の追求



キーワード

人間の安全保障、防災と開発、持続可能性、アジア太平洋地域、より良い復興、包括的學校防災、まちづくり、防災の担い手づくり、理論と実践の相乗効果

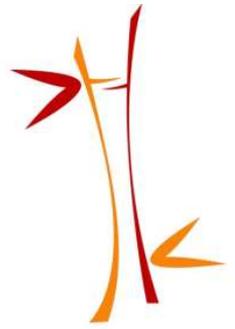
事務局所在地・連絡先

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412 Fax: 078-766-9413

団体設立

SEEDS Asia は 2006 年 9 月より特定非営利活動法人として活動しています。
なお、2020 年 2 月に神戸市より認定 NPO 法人格の交付を受けました。



2020年度事業計画

1. 基本方針：SEEDS Asia 2030プラン 5つの方針継続

SEEDS Asia10周年記念会議（2017年）を機に策定された「SEEDS Asia 2030年プラン」の基本方針に基づき、専門的で質の高い防災事業の持続的な運営を成し遂げ、仙台行動枠組・持続的な開発目標の達成に寄与します。

SEEDS Asia 2030：5つの基本方針

- 仙台防災枠組（SFDRR）と持続的な開発目標（SDGs）の達成に寄与し、専門性を活かした質の高い防災事業に取り組みます。
- 事業を通して、SEEDS Asiaのブランドイメージを高めるとともに、事業パートナーを介して、そのブランドイメージのアウトリーチを推進します。
- 事業成果をもとに、収益性のある事業の創出を図り、事業収入の増加を図ります。
- 広報強化により、SEEDS Asiaの認知度を高め、寄付金等の収入増を図ります。
- 多様化された財源を組織の基盤強化に充て、持続的な事業・広報の実施につなげます。



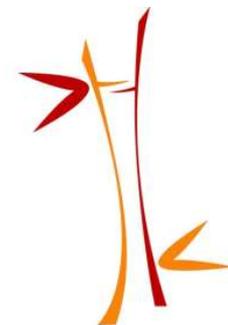
2. 重点活動：4つの優先行動に基づくSEEDS Asiaの8つの重点活動の推進

国内外で災害が甚大化・頻発化する中、防災はよりその重要性を増している。「SEEDS Asia 2030年プラン」では、仙台防災枠組の4つの優先行動に基づき、SEEDS Asiaとして日本を含めたアジアにおける経験や知見を活かし発展させる8つの重点活動を推進し、以下のとおり年度目標の達成に取り組むこととする。

一方、SEEDS Asia 2030年プランの策定から5年が経過した2020年度に、内部モニタリングを実施したところ、成果を測る指標については不足点が見られた。そのため、各プロジェクトや重点活動の成果を測る共通の指標の開発を通じた団体基準の確立、良質で適正かつ効果的な活動推進に向けたテクニカルアドバイザーの起用を進める必要性が確認された。加えて2020年の新型コロナウイルスの影響により、従来の活動や手法を想定した数値目標の変更が今後生じる可能性が高く、新たなツールやメディアを活用した手法の開発による目標の達成が必要であることが認識された。

1) 仙台防災枠組 2015-2030 4つの優先行動と SEEDS Asia 8つの重点活動「2030年プラン」

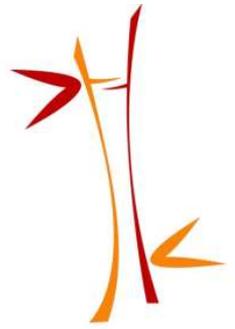
災害リスクの理解促進	レジリエンスを高める 防災への投資	災害リスクガバナンス 強化	備えの強化と「BBB」
災害リスクの高い地域を中心に、現地の状況やニーズに応じた 防災知識や技術の普及・防災意識の啓発 を実施します。	レジリエンスを高めるための研究者への支援や共同研究等の促進により、 事業と研究のシナジー効果を生み出 します。	対象地地域に於ける学校や地域住民による 災害リスク管理の体制を強化・推進 するため、 指導員を育成 すると共に、 防災計画の推進に向けた体制と計画整備 を支援します。	緊急支援に始まる復興プロセスの各段階に応じ、 災害前よりもレジリエントな状態を目指した活動を展開 します。また、緊急時にも社会的な脆弱層を視野に入れた 人道支援の国際基準に基づく支援 をおこないます。
防災/環境 教育・啓発	防災研究・調査促進	防災指導員育成	緊急支援・避難者 支援
ツールの開発	より安全な建設の 推進	防災管理体制 強化・促進	コミュニティ防災



2) 2022年度の8つの重点活動実施と達成目標/活動内容の設定

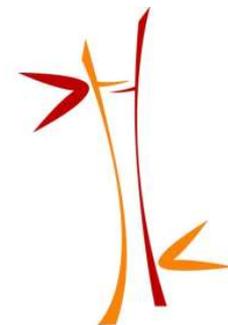
重点活動8項目の2030年目標に向け、各活動の達成度を計る指標を下記のとおり定めた。また別途目標を達成するための戦術についても別途設定した。

4つの優先事項	8つの重点活動	2022年度の達成目標と活動内容
災害リスクの理解促進	①防災/環境教育・啓発	目標：2,000人への防災教育や啓発の機会を提供する (日本1,000人、フィリピン1,000人)
	②ツールの開発	目標：ウェブサイトにおいて持続的に活用・改善できるツールを公表する ● 全事業地：HP上でSmart Knowledge Resource Centre (SKRC)として啓発ツールをオンライン化（登録・誓約、有償のものについては支払へのプロセスを含む）
レジリエンスを高める防災への投資	③防災研究・調査促進	目標：事業の効果や教訓、アジアの共通課題について研究論文・出版物を発表する/論文・出版物の執筆に協力する ● 各事業の効果的な実施に関わる研究・学术界及び科学研究機関との連携を進める
	④より安全な建設の推進	目標：安全な建設に向けた政策的提言を発表する ● フィリピン：安全な学校建物建設への提言
災害リスクガバナンス強化	⑤防災指導員育成	目標：学校・地域・行政の防災計画担い手20名を達成 ● 学校/地域 防災指導員の育成 (日本12人、フィリピン8人)
	⑥防災管理体制強化促進	目標：学校防災計画・地区防災計画の事例を2つ作成する ● 学校防災計画作成（日本、フィリピン）
備えの強化と「BBB：より良い復興」	⑦緊急支援・避難者支援	目標：災害発生時の緊急支援に向けて寄付金のプールと災害前協定の締結を推進する ● 緊急支援発動基準に基づき、事業開始を判断 ● 緊急支援用資金源の確保（寄付金の積極的募



SEEDS Asia

		集)
	⑧コミュニティ防災促進	目標：災害による被害が予測されている未災地での活動を展開する ● 日本・鳥羽：鳥羽小学校等と地域の連携強化



3. 特定非営利活動にかかる事業（国・プロジェクト別）

3-1：人材育成事業・その他事業に付随する活動

(1) ミャンマー

1) 複合的危機下にある児童生徒・学生の教育継続支援

活動地域	ミャンマー国内
期間	2022年4月～2023年3月
従事者	2名（現地職員含む）
受益対象者	児童生徒・学生(100名)
資金支援	個人・法人寄付等
SEEDS Asia 2030	緊急支援・避難者支援
SDGsとの関連性	

事業内容：

コロナ禍とクーデターによる影響で、約2年に亘って学校閉鎖が続いていたミャンマーにおいて、教育継続に向けた機会・物資を提供する。日本国内並びにミャンマー研究者からの協力を得て、防災人材育成のためのオンライン講座の実施を検討する。

(2) フィリピン

1) フィリピン 中部ビサヤ地方セブ州における教育継続支援事業

実施地域	セブ州
期間	2022年2月～2022年8月
従事者	5名
受益対象者	フィリピン国教育省第7地方事務所下の地区事務所職員（10）、セブ州内の学校教員（50）、児童生徒（50）計1,060人
資金支援	個人寄付、ジャパン・プラットフォーム（JPF）支援による統合案件
SEEDS Asia 2030	緊急支援・被災者支援



SEEDS Asia

SDGs との関連性	
------------	---

事業内容：

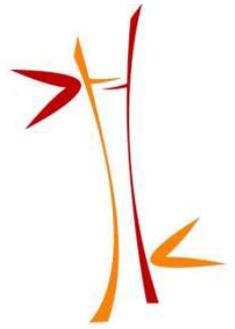
2013年11月に発生した台風ハイエン（ヨランダ）並びに2021年12月の台風オデットの被災地であるセブ州において、被災した学校が授業再開の目途を立てられるよう、引き続き電力が回復していない地域の学校に発電機、そして校庭に木やがれきが散在している学校に清掃キットを貸与し、学校建物の被害調査を進める。

2) フィリピンの被災地における災害遺構整備と気候変動へ対応した防災教育による学校防災強化事業

実施地域	セブ州
期間	2022年8月～2025年7月
従事者	8名
受益対象者	学校の教職員及び児童、行政機関、対象地域住民、地域団体など
資金支援	JICA 草の根（地域活性化特別枠）
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、防災指導員育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGs との関連性	    

事業内容：

2013年11月に発生した台風ハイエン（ヨランダ）の被災地であるセブ州において、過去の災害の教訓と地域ごとの気象情報の理解促進を通じた「命を守るための判断基準」の確立を目指す。先行する2つの事業に引き続き、フィリピン国教育省第7地方事務所及び兵庫県教育委員会と協働で実施する。フィリピンでは過去の悲しい出来事について話すことを避ける傾向にあるが、台風ヨランダを契機に、教訓を未来に伝える重要性が認識され始めている。兵庫県は阪神・淡路大震災からの教訓を伝える災害遺構を各地に有し、これらを踏まえた学校教育が展開されていることから、その知見を現地に共有し災害遺構の整備に取り組む。また、フィリピンでは気象情報のメッシュが大きく、正しい気象理解が普及していないことから、SEEDS Asia や専門家により、ローカル化された気象情報と災害対応プロトコルの発動基準に関するトレーニングを実施する。



SEEDS Asia

(3)国内

1) With コロナ時代の復興まちづくり協力/支援事業

実施地域	長野県長野市
期間	2022年4月～2022年3月
従事者	3名
受益対象者	地域住民
資金支援	長野市、ジャパン・プラットフォーム（JPF）支援による統合案件
SEEDS Asia 2030	ツールの開発、防災指導員育成、緊急支援・避難者支援、コミュニティ防災の推進
SDGsとの関連性	    

事業内容：

台風 19 号による千曲川の氾濫で大きな被害を受けた長野県長野市長沼地区は、今後も起こり得る災害の脅威にさらされていることに加え、今回の災害からの復興期・復興後のまちの在り方を問われている。そこで、本事業では長沼地区住民自治協議会まちづくり委員会と長野市と連携し、長沼地区の復興まちづくり計画となる「ホームタウンながめま」の改訂支援をおこなう。

2022 年度スケジュール（各事業スケジュール）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	メイン	アシスト
ミャンマー： 緊急支援	寄付募集 継続												大津山	中川
フィリピン： JPF													有馬	大津山 中川
フィリピン： JICA													有馬	大津山 中川
日本： JPF・長野市													大津山	有馬 中川



SEEDS Asia

その他 (過去事業地 でのフォロー、研 究関連)	フォローアッ プ活動														大津山	有馬
コンサル業務															随時対応	

3-2: その他事業に付随する事業

(1) 広報

実施地域	特定非営利活動法人 SEEDS Asia 本部 (神戸)
期間	2022 年 4 月～2023 年 3 月
従事者	広報タスクフォース (理事・アドバイザー有志)、事務局
受益対象者	N/A

昨年度計画で未実施となったホームページの改訂 (日・英) をおこなう。また、ニュースレター発行の継続と改善を継続し (英版継続休止)、開封率の向上 (2021 年度 22.07%→2022 年度 31.95%) やその後の寄付や賛助会員の増加に努める。また、facebook や twitter への情報掲載の仕方について再検討しファンを増やす (facebook 団体への「いいね」の数 2021 年度末 1,802→目標 1,850、Twitter フォロワー 2021 年度末 63→目標 100)。また、国内外における各防災に関わるイベントや講演に参加するなど広報活動を継続する。

2022 年度スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	メイン	アシスト
広報タスクフォース			活動 計画			レビュー							広報 TF	
Web づくり	構成の 提案	理事 会 承認	コンテ ンツ作 成	業 者依 頼		開始							大津 山 & 有馬	委託
成果物の共有													有馬	



(2)講演、研修

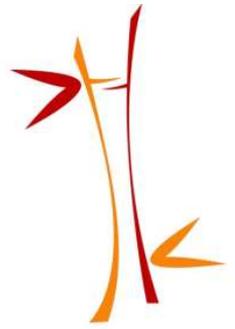
実施地域	日本の各地
期間	2022年4月～2023年3月
従事者	5名（理事・アドバイザーを含む）
受益対象者	一般、大学・高校の学生、教員、援助関係者など

未災地支援として、三重県鳥羽市への講師派遣、シンポジウムや学校の授業などを通してアジアや日本の災害と現状、防災教育、コミュニティ防災等についての講演や研修を依頼に基づき実施する。

(3)組織強化

認定 NPO 継続に向けて賛助会員 15 名、団体賛助会員一団体（企業）を 2022 年度の目標とする（現在賛助会員 12 名）。また、内部共有システムの改善、各スタッフの研修や講演への参加を促進する他、事務局が属する地域コミュニティとの連携・活動を通じてスタッフの能力強化を継続的にこなう。今年度の人員増加はフィリピン事業を除き事業追加がない限り、原則として無しとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会			総会			16 周年 記念						
資格への投資・セミナー参加等	継続											
内部共有システム（クラウド）	Dropbox 継続活用											



SEEDS Asia 事務局

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412

Fax: 078-766-9413

Email: rep@seedsasia.org

Website: <http://www.seedsasia.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/SEEDSASIA/>

Twitter: <https://twitter.com/seedsasia?lang=ja>

活動予算書

特定非営利活動法人SEEDS ASIA

(単位：円)

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日

I 経常収益の部		
1 受取正会員費	120,000	
2 受取賛助会費	21,000	
2 受取寄付金	500,000	
3 受取助成金等	30,031,000	
4 事業収益	18,000,000	
5 その他収益	700,000	
経常収入合計		49,372,000
II 経常費用の部		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	15,575,000	
法定福利費	1,971,000	
福利厚生費	50,000	
(2) その他経費		
旅費出張費	4,371,000	
業務委託費	850,000	
消耗品費	973,000	
会議費	200,000	
通信費	220,000	
印刷費	220,000	
支払手数料	1,337,000	
現地貸借費	1,860,000	
現地水道光熱費	390,000	
現地事業費	16,148,000	
諸会費	160,000	
租税公課	20,000	
事業費合計		44,345,000
2 管理費		
(1) その他経費		
水道光熱費	120,000	
地代家賃	1,594,000	
保険料	10,000	
租税公課	799,000	
リース料	122,760	
管理費合計		2,645,760
経常費用合計		46,990,760
当期経常増減額		2,381,240
当期正味財産増加額		2,381,240
前期繰越正味財産額		21,154,053
当期正味財産合計		23,535,293